

生麦中だより

令和3年(2021) 9月【5号】

「互いを認め合い幸せをつくる」

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/namamugi/>

「不確実な時と向かい合うために」

校長 山口 毅

夏休み、臨時休校を含め、マスクを外すことができない日常が続いたと思います。感染症に気づかうだけでなく、熱中症にも注意をしなければならない休みだったにもかかわらず、9月1日に元気な姿を見せてくれた生麦中学校生徒の皆さんに、職員一同とてもうれしく思います。

東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。困難な状況の中で、世界のアスリートたちが集い、互いを認め合い、卓越したその技術を目の当たりにした皆さんも多かったのではないのでしょうか。スポーツ解説者の増田明美さんは、ベテランパラリンピック選手の活躍に驚き、パラ選手を「努力の天才」と讃えています。

テレビで観戦・応援して、自分がどのように思ったかを是非、仲間と語り合ってください。

オリンピック・パラリンピックでは、この日本に世界各国から多くの皆さんが訪れました。私たちが世界を実感できる時でした。

「見つめる先は、世界・・・としたなら」、世界各国の人々と生活を共にして、同じ学校で勉強するとしたら、どのようなことを身に付けなければならないか・・・

地球規模で活躍できる人を、「グローバル力を持った人」と言ったり、「グローバル人材」と言ったりします。私がイメージするグローバル力とは、異なる文化や経験したことのない困難に出会ったとき、巧みに乗り越えていく力のことです。自分の力を最大限に発揮し、自分ない力を持つ他者と協働して、問題を解決していくことができる。そんな素敵な人に成長してもらいたいと同時に、ここ生麦中学校でそのような人を育成したいと思っています。真のグローバル力を持つ人を育てることが今、求められています。

今のような変化が激しく、状況が見えない時は、「これはこう」とはっきり言えないことばかりです。「何が正しいのだろう」と問いかけながら、「モヤモヤ」した気持ちを抱えて進んでいかななくてはなりません。

そのためには、すぐに正解が分からない状況に耐えられる精神的な“タフ”さが求められているし、仲間と協同して困難を乗り越えていく力も必要です。その意味で、多くの様々な経験を積み重ねていくことが必要ですし、学校の中で仲間と協同して困難を乗り越えていく力が自分を“タフ”にしてくれると思うのです。自分で考え、そこから自分の意見を見出しながら、生麦中学校の皆さんがグローバル(地球規模)に活躍してくれることを期待しています。

充実する2学期にするために 生麦中学校全体で、「自分を大切に、周りの人も大切にする気持ち」を持って、生活してください。

人の嫌がることをしない、言わないことはもちろんのこと、胸を張って生活することを心がけていきましょう。

引き続き、1年生は、「自分を大切に、学習することによって自分を鍛えてください。」

2年生は、「自分と向き合うことができるように人の意見に耳を傾け、人の話をしっかりと聴くことに心掛けてください。」

3年生は、「志を持ち 前向きに、挑戦してください。」諦めないで、努力をして、自分の道を切り開いていきましょう。

コロナ感染症については、今なお続く厳しい状況です。分散して学級人数を調整しながらの学校生活になりますが、マスクをして感染対策を確実にしながら、学習・生活に取り組んでいきましょう。

2学期も皆さんが互いに支え合い、学校生活に前向きに取り組んでいくことを期待しています。

吹奏楽部 東関東吹奏楽コンクール出場



トロフィーと賞状を持つ部員（右から櫻井さん、鈴木さん、串木野さん※撮影のためマスクを外しています）

生麦中学校吹奏楽部の活躍が「タウンニュース鶴見区版 8月26日付」に掲載されましたのでご紹介します。

生麦中学校吹奏楽部が8月11日、県民ホールで行われた第70回神奈川県吹奏楽コンクールで金賞に輝き、初となる東関東への切符を手に入れた。部員らは「まさか行けるとは思わなかった」と口を揃え、「東関東に出るからには納得できる演奏を」と意気込む。

県コンクールでは、30人以内編成の中学校部門Bに出場。33校中12校のみに与えられた金賞・東関東大会出場権を獲得した。同部の過去最高実績は、5年前の県大会銀賞で、今回新たに歴史を塗り替えた形だ。



地域で自信育めず

部員数は1年生から3年生までの51人。50人以内編成のA部門へのお出場であったが、7月下旬の横浜大会には、県大会出場を目指してB部門で臨んだ。

自由曲1曲での勝負となるB部門。演奏曲は5曲あった候補の中から、「インパクトを残したい」と、『スクーティン・オン・ハードロック〜3つの即興的ジャズ風舞曲〜』を

選んだ。吹奏楽では珍しいアップテンポな曲調が特徴の曲だ。

コロナ禍の練習は限られた時間での活動のうえ、パートごとが中心。部長の鈴木真生さん（3年）は「ほかのパートがどんな音を出しているのかわからず、大変だった」と苦労を明かす。

さらに、昨年3月以降、地域での演奏機会が無くなったことで、「自分たちの演奏が良いのか悪いのか、生徒たちは自信がない状態だった」と顧問の有賀圭一教諭。

そんな中で迎えた7月下旬の横浜大会。激戦と呼ばれる市内で86校中4位の成績をおさめたことが、大きな自信につながった。

演奏やり切る

一方で、自信をもって臨んだ県大会では、市4位がブレッシャーとなり、「緊張して思うように演奏できなかった」と副部長の櫻井のどかさん（3年）は悔しさをにじませる。

東関東大会は9月18日、ザ・ヒロサワ・シティ会館＝茨城県＝で行われる予定。緊急事態宣言が発出されたことで、練習時間はさらに減ることを余儀なくされる。

「県は納得できてない。課題を改善してパワーアップした演奏ができれば」と副部長の串木野未帆さん（3年）。鈴木さんは「出場だけで終わらせたくない。やり切ったと思える演奏をしたい」と力を込めた。

有賀教諭は「感染対策に尽力してくれている保護者や、地域の方たちのおかげで活動ができていることにまず感謝したい」とし、子どもたちも本当にかんがっている。応援してもらえれば」と話した。



修学旅行 中止のお知らせ

誠に残念ではありますが、生徒の健康・安全を最優先に考え、本年度の修学旅行は中止とします。

臨時休校以降も新型コロナウイルス変異株の感染力が強くなっており、学校関係者のコロナ陽性患者発生報告が急増しています。

学校は感染症拡大に伴い、感染症拡大防止を大前提に考え、修学旅行の安全実施に向けて継続的に検討を重ねてきました。

しかしながら、全国への感染拡大状況・修学旅行安全対策等の観点から、実施が難しいと判断せざるを得ないと判断しました。

これまでに、修学旅行での安全を確実に確保するために日程を9月に延期し、コース全体計画の見直し・再検討を行いました。下見を2回実施し、航空便の調整や安全に昼食を取るためにホテル会場を確保するなどして準備を進め、更なる安全対策を検討してきました。

8月まで関係職員を中心に修学旅行実施に向け、準備をしてきましたが、生徒の健康・安全面を最優先に考え、やむなく中止の判断といたしました。どうぞご理解をお願いいたします。

分散登校について

◆ 分散登校について

- 学級を2つのグループに分けて教育活動を行います。
- グループごとの在校は14時半までとします。
- 分散登校の仕方は、次のとおりとします。

- 6日(月) A 登校(昼食あり) B 家庭学習
- 7日(火) A 家庭学習 B 登校(昼食あり)
- 8日(水) A 登校(昼食あり) B 家庭学習
- 9日(木) A 家庭学習 B 登校(昼食あり)
- 10日(金) A 登校(昼食あり) B 家庭学習
- 13日(月) A 家庭学習 B 登校(昼食あり)

生徒の活躍【部活動等】

- ◆よこはま国際スピーチコンテスト鶴見区
3年 金井 紗輝 さん 「今を生きる私達」
- ◆第72回横浜市立中学校生徒英語弁論大会
3年 渋谷 日菜華
「A Better World For Everyone」
3年 高山 沙璃奈
「The Work That Connects People's Hears」
- ◆水泳部
県総合体育大会 出場
関東大会 出場
- ◆ソフトテニス部
女子 市総合体育大会
個人 ベスト16
団体 ベスト8(県総合体育大会出場)
- ◆野球部
市総合体育大会 ベスト16
- ◆吹奏楽部 吹奏楽コンクール
横浜市:金賞 神奈川県:金賞
東関東吹奏楽コンクール出場

行事について

- 3年修学旅行 中止
- 1年生校外行事 延期
- 部活動 9月13日まで停止
(吹奏楽部・陸上競技部 →活動あり)
- 防災訓練 延期
- 風歌祭合唱の部
10月26日全校での実施は検討中
- 夏テスト 1日目 9月24日(金)
2日目 9月27日(月)

*感染症拡大の状況により日程・行事に変更が生じた場合は、別途お知らせいたします。

非接触体表温度検知カメラ

学校玄関に非接触体表温度検知カメラを設置しました。

顔を近づけると、表示がされ、体表温度が表示されます。手のアルコール消毒を行いながら、画面にされるため、感染症防止対策の意識が高まります。

学校へ訪問される皆様のご協力・ご理解をお願いいたします。



熱中症対策

熱中症防止のための対策を取っています。夏休み前から準備に入り、休み中に2棟3年教室には、遮熱カーテン、サーキュレーター、廊下にも、簡易冷房器具、及び廊下窓側に遮熱カーテンを設置しました。

9月残暑の厳しさを和らげるための対策です。

